

全国大会の感想

今年度も全国大会において、商業高校生の活躍がありました。日頃の練習の成果を発揮し、目覚ましい活躍してくれた生徒の皆さんお疲れ様でした。今回の商研ニュースでは、全国大会で活躍された部活動の代表生徒に、全国大会の報告をしていただきました。

令和7年度第72回
全国高等学校ビジネス計算競技大会(7月24日)

【珠算】

三沢商業高等学校 3年 太田 若那

私たちは、団体競技両部門での全国優勝を目標に日々練習に取り組んできました。目標達成とはなりませんでしたが全国大会に出場した10人だけでなく、部員全員が同じ目標をもち一丸となり戦うことができました。全国大会という大きな舞台で3年間の練習してきた成果を出し切れたこと、技術も人間性も鍛えることができたのは顧問の先生方をはじめ、多くの方々のおかげです。来年の全国大会で自分たちが成長できたと実感しています。来年の全国大会では後輩たちが日本一を獲ってくれることを願っています。

(結果)
団体 第5位
個人 優良賞・佳良賞
種目別 第3位・佳良賞



青森県高等学校商業教育研究会
研究誌編纂委員会 発行



編集者 鯨ヶ沢高等学校
八戸商業高等学校
青森商業高等学校
奈良 靖宏
上野 泰聖
神 晃太

【電卓】

三沢商業高等学校 3年 大澤 千夢来

今年度も7月に行われた全国大会に出場しました。結果は、団体競技をはじめ、種目別競技で昨年度より良い成績を残すことができました。全国大会での団体優勝を目標に、部員全員が日々の練習に取り組んできました。全国のレベルに圧倒され、いつも通りの結果を出すことが難しかった中でも、練習の成果を出せたと感じています。後輩の皆さんには、来年以降も県予選で優勝し、全国大会で活躍して行けるよう練習を頑張ってください。

(結果)

団体 第7位
個人 佳良賞
種目別 準優勝・佳良賞

令和7年度第41回

全国高等学校簿記競技大会(7月25日)

三沢商業高等学校 3年 寺井 瑠貴

私は全国高等学校簿記競技大会に出場しました。入賞はできませんでしたが、全力を出し切ることが出来ました。先生や家族、支えてくださった沢山の方に感謝しています。大会では他校の簿記理解力の高さを実感し圧倒されましたが、高校生でこのような経験ができたことをありがたく思います。後輩が来年も団体で全国大会に出場できること、今年大会に出場した2年生が今回の経験を活かしてより良い成績を残せることを願っています。

令和7年度第37回
全国高等学校情報処理競技大会(7月26日)

弘前実業高等学校 3年 小嶋 凜香

私たちは、第37回全国高等学校情報処理競技大会に出場し、団体の部第9位、個人の部では2名が佳良賞に入賞することができました。全国大会での目標は、団体10位以内、個人30位以内を目標にしました。県予選会の後は、全国大会の過去問題に取り組みました。全国大会は完全解答でなければ得点に繋がりません。そのため、ミスを減らし、確実に得点できるように練習しました。本番では時間配分に気を付け、できる問題から積極的に取り組み、今回の結果を得ることができました。



令和7年度第72回

全国高等学校ワープロ競技大会(7月29日)

八戸商業高等学校 3年 殿村 漣

今回の全国大会は2回目でしたが、この大会で「佳良賞」をいただけたことが本当に嬉しかったです。後輩と一緒に大会に臨むことができ、プレッシャーを感じることなく楽な気持ちで参加でき本番もリラックスして臨むことができました。



また、全国大会は錚々たるメンバーが出場すると聞いていましたが、打つ速度や打数が全然違うことを再認識しました。最後の大会で、私が今まで練習してきた成果を全て出し切ることができ、とても有意義な経験ができました。

令和7年度第42回

全国高等学校英語スピーチコンテスト

(9月21日)

三沢商業高等学校 3年 松橋 美麗

全国大会では、自分に順番が来るまでとても緊張していましたが台に上がるとすぐ楽しみながら発表することができました。入賞することは出来ませんでした。が、ベストを尽くすことができ、自分にとって大きな財産になったと思っています。この経験を活かして、これからの進路活動を一生懸命に取り組みたいと思います。

三沢商業高等学校 2年 坂本 梨々花

全国大会は、とてもレベルが高く入賞はできなかったけど多くのことを学ぶ貴重な機会となりました。私は練習通りに最後まで間違えずに発表することができ、達成感がありました。とても緊張しましたが、自分の力を出し切れたことは大きな自信につながりました。今回の経験を通過して、準備の大切さや表現力の重要性を改めて実感することができたのでこれからの学校生活や将来の活動にも生かしていきたいです。



運動部の活躍

令和7年度 全国高等学校総合体育大会

(7月23日～8月20日)

弘前実業高等学校 陸上競技部 3年 鳴海 裕大

全国1位を目指して臨んだインターハイ。急遽メンバーが変更となるイレギュラーな状況でしたが、結果は6位入賞と、弘前実業の強さを全国に示すことができました。これまで支えてくださった先生方の笑顔を見たときは、とても嬉しい気持ちになりました。

最後に、後輩たちには恵まれた環境で練習ができていたことを自覚し、感謝と謙虚な気持ちを忘れずにこれからも頑張っていきたいと思います。3年生みんなが応援しています。



弘前実業高等学校 ソフトテニス部 3年 小山 颯斗

私は全国大会を終えて、去年同様自分のやってきたことを出しきることが出来ずとても悔しい思いをしました。私は去年も全国大会を経験しているので、心の準備や日頃の練習で1回でも多く勝てるように一日一日を大切に取組んできました。しかし、会場に入ると、緊張や、相手との実力差も感じ、去年と変わらぬ自分に落ち込みました。ソフトテニスで上手いかなかった経験を進路実現に生かして頑張っています。



青森商業高等学校 卓球部 2年 神 和花

私たちは、2大会ぶりに高校総体の学校対抗で優勝し、インターハイに出場しました。初めてでしたが自分なりのプレーで楽しく試合ができました。インターハイというレベルの高い試合を直接見ることができて来年もまたここで試合をしたいという気持ちになりました。来年もインターハイの出場権を獲得できるように、良い環境で練習できていることや周りの支えてくださっている方々への感謝を忘れずに、練習に励みたいです。



東北大会の感想

令和7年度第29回

東北六県高等学校生徒商業研究発表大会

(8月23日)



三沢商業高等学校 3年 太田 若那

私たちは11年ぶりに県大会で優勝し、東北大会に出場することができました。これまで先輩方が開発してきた商品の販路拡大を目指し、ECサイトやふるさと納税、アンテナショップなど宣伝活動を行ったことを発表しました。

発表までの準備はとても大変でしたが、先生方や友人の支えで県大会よりも緊張せず堂々と発表することができました。全国大会への出場は叶いませんでしたが、東北の各学校の発表で多くの学びを得ることができました。この経験を後輩たちに伝え、来年はぜひ県・東北を勝ち抜き、全国大会に出場してくれたらと願っています。

八戸商業高等学校 3年 松家 璃奈

東北大会までの準備期間は、夏休みの進路活動と重なり全員が揃って活動することが難しく、苦勞の多い日々でした。たった10分の発表のために何ヶ月も努力を重ねることに辛さを感じることもありましたが何度も練習を重ね、本番を迎えることができました。発表中に頭が真っ白になる場面もありましたが、最後まで諦めずにやり遂げたことで自信に繋がりました。他校の発表を見て、原稿を見ずに伝える姿勢や身振り手振りの使い方、スライドの構成など、多くの点で学ぶことができました。この経験と努力の過程を今後の自分の成長に活かしていきたいです。

インターンシップ・職場体験

三沢商業高等学校 1年 堀内 優夏

今回のインターンシップを通して、信用金庫の職場の雰囲気や役割について学ぶことができました。インターンシップに行く前までは、金融機関は少し堅いイメージを持っていましたが、実際に行ってみると、職員の方々が明るい笑顔で対応してくださりととても温かい職場だったことに驚きました。お客様にとって相談しやすい雰囲気を作っていることが信頼につながっているのだと思いました。また、信用金庫が地域密着型の金融機関であることも強く印象に残りました。二日目の午後に渉外担当の方々と一緒に外回りをしました。渉外担当の方々は契約を取る以外の時にも地域の企業などへ行き、直接お話をすることで企業のことを知り、自分のことも知ってもらうことで信頼されていることがわかりました。地元の人々や企業との繋がりを大切にし、地域の発展に貢献していると思います。金融の仕事は、数字だけでなく、人との関わりや、信頼関係が何より重要だということを学びました。

今後は信用金庫で働くことも視野に入れていきたいと思いました。信用金庫で働かないとしても、将来は地域の方々や、周りの方々に信頼され、役に立てるような働き方をしていきたいと思いました。

八戸商業高等学校 2年 菊池 優歌

株式会社アイテイクワークさんでの職場体験実習では、様々な世代の方との会話や、初対面の方との名刺交換をすることで、社会での礼儀や接し方を学ぶことができました。普段は限られた人とししか関わらないため、この経験はとても新鮮でした。慣れない環境で緊張もありましたが、笑顔で声をかけてくださる方々のおかげで楽しく過ごせました。名刺の扱い方や丁寧な仕事の姿勢など多くのことを学び、今後社会に出た際にこの経験を活かしていきたいと思っています。

青森商業高等学校 1年 鈴木 美波

インターンシップを通して、保育の現場で子供達と関わる難しさと楽しさを学ぶことができました。初めは子供達にどう声をかければいいのか迷うこともありましたが、積極的に一緒に遊び、子供の視線に合わせて話しかけたりすることで、距離を縮めることができました。子供と協力しながら遊ぶ楽しさを感じ、食事では子供の様子をよく観察することの大切さを学びました。保育士は個性や気持ちを理解し、安心できる環境を作る存在だとわかりました。声かけや対応に迷うことも多くありますが、実習で学んだ経験を今後活かしたいです。

大間高等学校 2年 荒木 陽向

私は、津軽海峡フェリー株式会社でインターンシップを行いました。

この期間に、船内の清掃や消毒を徹底することで、お客様にきれいと安心・安全を提供すること、わからないことがあればすぐに聞き、メモをとることが大切だと学びました。

今回の体験を通して、接客業に興味を持ちました。今後は、様々な人と積極的にコミュニケーションをとり、誰に対しても平等に接しながら生活していきたいです。

鱈ヶ沢高等学校 2年 黒滝 蒼明

私は、水軍の宿にインターンシップに行き、部屋や廊下の清掃、窓ふき、部屋の準備、片付け、エアコンのフィルターの掃除などをしました。従業員の方も言っていたようにおもてなしの心を持ってやっていると感じました。

おもてなしの心を持って接客をすること、お客様のことを考えて行動すること、報連相の大切さなど沢山のことを学ばせていただきました。また、初めてで、おどおどしていた私たちに親切、丁寧に教えていただきました。今回の実習で学んだことを今後活かしたいと思っています。

商品開発紹介

弘前実業高等学校 商品名「キミペロ」

商品内容「獄きみの廃棄物を使ったペットフード」
テーマ「農作物の廃棄物を使ってペットフードをつくる」
協力企業「青い森工房」

農作物の廃棄物を減らすため、昨年度からの継続研究として活動しています。話題性があり、興味を持ってもらうためにどの農作物に着目すれば良いか考えることが大変でした。企業の方に協力してもらったため、こちらのやりたいことやお金の話などのやり取りをすることは難しかったですが良い経験となりました。



弘前実業高等学校 商品名「ねぶた絵キーホルダー」

商品内容「捨てられるねぶた絵を再利用したキーホルダー」
テーマ「ねぶた絵を再利用して広めよう」
協力者「黒岩さん」

販売活動を行うまでの準備も大変でしたが、販売時も素通りされることなどもあり、販売するということは大変だと分かりました。高めの値段でも購入してくれるということが分かりました。キーホルダーの制作過程を説明することや、宣伝活動を行うことが大事だと感じました。



三沢商業高等学校

私たちは課題研究の授業で、東北ファームと連携し、常温・長期保存が可能な2種類のプリンや、三沢商業高校のキャラクターを使用したおとりくんどーナツや、三沢商業高校のキャラクターを使用したおとりくんどーナツやたまごボーロを開発しました。また、令和6年度に高蔵ホークと共同開発したニンニク塩麴ノンオイルドレッシングが完成しました。地元食材を使い、サラダや肉、魚に合う万能調味料です。これらの商品は空港やイベントで販売しており、今後も地元企業と連携しながら、三沢市の特色を生かした商品づくりを通じて地域活性化に貢献していきたいと考えています。

「全卵・卵黄プリン」



「おとりくんどーナツ」



「たまごボーロ」



「ニンニク塩麴ノンオイルドレッシング」

